

2020年3月30日

松風台自治会 まちづくり運営委員会

## まちづくり だより No.17

### 今年度の活動を振り返って

松風台 街が変わったな！ あれこれ…

まちづくり運営委員会 副委員長 行正龍昭

我が家のすぐそばにゴミ置き場があります。昨年十二月にカラスよけのケージが設置され、これを機にゴミ置き場周辺に集まってきたカラスはすっかり見かけなくなりました。それまで、カラス追い払い用の緑の棒を準備して待ち構えていた私は「失業」となりました。

また、南公園前のゴミステーションに行くついでに公園内を一周しています。

大風が吹いた後の落下した枝木、犬のフン、子供(?)が集めてきたブロック片などの見回りです。まちなみプロジェクトの活動として、有志で作製した木製ベンチに腰かけている人を見かけるようになり、うれしさと共にほっとした気分になります。ウォーキング歩数の足しにもならないような一周ですが、街の変化を知るには大変役立っています。

まちづくり運営委員会は、これまで主に茅ヶ崎市の景観みどり課の協力を得て相互の情報提供や意見交換をしながら活動してきました。しかし建築計画の手続きや業者との交渉にあたっては専門部署のアドバイスと協力が必要な案件もあり今年度からは建築指導課にも参加いただくことになりました。

さっそく建築指導課の受付窓口に住民協定運用に関する書類(※)を準備しました。また、業者に資料を手渡ししながら本協定を守っていただけるようお願いしています。

まちなみ賞の受賞や市長からの表彰などもあり、茅ヶ崎市との協力体制が強化されてきています。当自治会やまちづくり運営委員会に励ましの言葉もいただくようになり、松風台にとって嬉しい限りです。

(※) ①松風台住民協定 ②協定内容の説明と手続きの手順 ③事前記入表



～家を建てるときには まちづくり運営委員会 に連絡を～  
受付携帯電話 090-6928-3830

茅ヶ崎 松風台



## まちなみプロジェクトの活動 まとめ

2017年に国土交通省「住まいのまちなみコンクール」で「住まいのまちなみ賞」を受賞し助成金として3年間、各年度50万円(合計150万円)の支給を受けることになりました。3年間を終えるまちなみプロジェクト活動の経緯と成果をご報告いたします。



### 住まいのまちなみコンクール受賞

松風台住民の理解と協力で

- ◇ 良好な街並みを形成している街を表彰するものです。これまで60団体が受賞、神奈川県では過去に横浜市2件、藤沢市1件で茅ヶ崎市松風台は4件目です。
- ◇ 松風台住民がお互いに理解しあって豊かな緑と低層住宅が調和する住環境を維持していることが評価されました。
- ◇ その後も、住民の皆さまの協力により住環境は良好な状況で推移しています。

### まちなみプロジェクトの発足

大人も子供も 広く住民の参加で

受賞を機に「まちなみプロジェクト」として発足。松風台の8つの団体<sup>(※)</sup>が参加し、将来への継続性も考慮して子供を含む住民の参加を広く呼び掛けました。

- ・公園の整備
- ・季節のイベントに協力
- ・日々の暮らし(安全、安心)への支援など身近な活動をテーマに取り組んできました。

(※) ふるさとワッショイ      バス停花壇の会  
しらゆり会      しおかぜの会      松風会子供たいこ  
防災会      こどもクラブ      松風台社協



### まちなみプロジェクトの実績

平成29年(2017)～平成31年・令和元年(2019) 3年間

#### 公園の整備

松風台の東、西、南の3公園は  
子供の遊び場  
大人のコミュニティの場  
高齢者の憩いの場  
となっています



ベンチカバー製作



記念植樹



(南公園:富士山がよく見える場所)  
「まちなみコンクール受賞」を記念し桜の苗を



公園の雑草取り  
住民参加の公園整備 (随時)

**まちなみプロジェクトの今後は  
コミュニティの発展に一石を投じた？**

松風台は40数年前開発され、多くは当時30歳代の第一世代が一齐に入居して今に至っています。第一世代は退職者層となり、第二世代は働き盛りの現役層となっています。

このような幅広い年代にまたがる地域社会を、いかに豊かなコミュニティとして継続していくかが重要なことです。

**まちなみプロジェクト**はこの課題にひとつの答えを提示したのかもしれませんが。



今後、この活動は、まちづくり運営委員会から発展して松風台自治会機能(例えば専門部など)のひとつになればと思います。

平成 29 年(2017)～平成 31 年・令和元年(2019) 3 年間

季節のイベントに協力

- 1)七タソーメン流し
- 2)夏まつり
- 3)ハロウィン
- 4)芋煮会
- 5)餅つき大会
- 6)火の用心巡回



ソーメン流し



夏まつり



餅つき大会



芋煮会

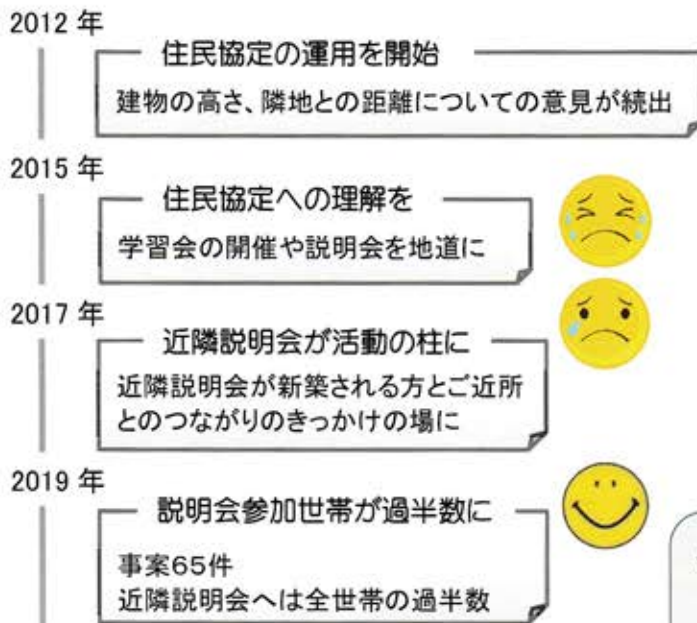
日々の暮らしへの支援

- 1) 掲示板設置
- 2) 安否確認「白いタオル運動」



## 松風台住民協定をもっとご理解いただくために

住民協定にもとづく新築事案が65件、近隣説明会に参加いただいた世帯数も300軒超と松風台全体の50%を超えることとなりました。  
これまでの活動とこれからのあり方を考えてみます。



2020年～  
**これからの活動  
まちづくり運営委員会**

- ◆「住民協定」は新築に伴う近隣間のトラブル発生に端を発したものでしたが、ここ8年間の運用の積み重ねで近隣住民間での相互理解が深まっています。
- ◆まちづくり運営委員会は転居、空き家、家屋の老朽化など街の変化を見守っていきます。新築事案の対応を通じて住環境を維持すると共に近隣のおつきあい(コミュニティ)を更に深めていけるよう努力してまいります。
- ◆住民協定誕生の原点を見つめながら「松風台のまちづくりの活動」を進めていきたいと思えます。ご協力をお願いします。

**これまでをふりかえって**  
「住民協定」は役に立っていますか？

- ★ 松風台住民協定の発効から丸8年になろうとしています。当初の頃を思うと
  - ◇「数字も書かれていない、根拠もない！」と…業者。
  - ◇「近隣間のトラブル防止にご協力を！」と…私たち。
 ひたすら理解を求めました。
- ★ 他方、近隣説明会には皆さん参加して下さるようになってきました。「図面はどうですか」「小さなお子さんが来てくれてうれしいです」「ご近所が顔を合わせることなどなかったですね」など、住民同士の和やかな空気が施主の方や業者にも伝わっていきました。
- ★ その後、数値基準の屋根の高さ8.00m以下、隣地との距離1.00m以上は、施主の方、業者の方々の理解も得られ実績として定着してきています。

住民協定は身近にあります。

**これからの住民協定 を 考えてみませんか？**  
まちづくり運営委員会 事務局長 小山博美

発行責任者  
松風台まちづくり運営委員会  
副委員長 行正龍昭

あちらこちらの道路上で子供たちの賑やかな声が聞こえるようになってきました。高齢化が進む一方で世代交代が進み、現役世代の方の新築入居が増えてきたからです。  
松風台が「住みやすい街」として定着してきたからでしょうか。住民の皆さまの「まちづくり活動」へのご理解とご協力のおかげと思えます。  
これからも住みよい街をめざしていきたいものです。

～編集後記～  
浦嶋 稔